

学力向上に効果のある取組事例

臼杵市立佐志生小学校

③主体的に学習に取り組む態度の涵養

取組の具体①

【学習意欲の向上につながる取組】

- 国語科を核とした基礎的・基本的な学力の向上
 - ・国語科を中心に各教科で音読活動を積極的に行っている。スキルタイム(月曜日・木曜日に実施)では、全校で音読に取り組んでいる。学年を解いた教職員が関わり、子どものやる気を促す取り組みを継続している。
- 一人ひとりに対応した個別最適な学び
 - ・少人数のよさを生かし、「指導の個別化」や「学習の個性化」などができやすい環境にある。ICT等を効果的に活用し、子どもの学習意欲の向上につなげている。
- 異学年との交流を通した協働的な学び
 - ・小規模校のため、異学年で交流して授業を行う場面も多く、発言する機会も多い。友だちとの考えを比べたり、根拠を明確にして伝えたりすることを、子どもたちが意識して取り組んでいる。
- ICT機器の使用ルールの徹底
 - ・授業で使用するタブレットのルールの徹底や、情報モラルの講演会等を実施し、家庭でのルールの見直しも進めている。



スキルタイムでの全校音読



6年生が、1、2年生の道徳で交流授業

取組の具体②

【学校・家庭・地域が連携した豊かな体験活動を通した学びの充実】

- 地域体験活動を通した学び
 - ・黒島海開き、田植え、芋ほりなど地域の協力により、多くの体験的活動を行っている。体験的活動を生かし、思いや考えを表現する場を多く設けている。
- 保護者の協力による家庭学習の充実
 - ・子どもの音読を家庭で聞く機会を設けるように呼び掛けている。アンケートの結果、82%の家庭が、2日に1回以上子どもの音読を聞いていた。保護者が子どもの学びに積極的に関わっていることがわかる。
- 子どもの頑張りやよさを認める
 - ・保護者アンケートで、「日頃から、子どもの頑張りやよさを認め、ほめている」保護者の割合が100%だった。そのため、子どもたちの自己肯定感も高い。
- 他校との連携
 - ・近隣の小学校と連携して社会見学などを行い、授業で学んだことを実際に体験し、深める活動を多く取り入れている。ICTを活用した他校との交流授業にも取り組んでいる。



民生委員さんと共に芋の苗植え体験



6年社会見学「古墳学習」